

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援あじさい		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 3月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の質	対応に悩みが発生した場合、複数のスタッフと対処法を検討する体制を取っている。	外部研修に参加する事でスキルアップを目指す
2	保護者との連携	IT化により、随時相談を受ける機会を作っている。	
3	関係機関との連携	情報共有の同意を得たうえで、同じ情報を持ち同じ方向性で取り組める体制を整えている。	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に関わるスタッフの少なさ	スタッフ全体のスキルを上げる機会が少ない	法人・事業所内研修だけでなく、外部の質の高い研修を受ける
2	スキルの質の差	経験値の違いから、スタッフにより質に差が発生。退職⇒新規採用により経験値を積む期間が短い。	スタッフに過度に負担のかからない、働きやすい環境作り。
3			